



2023年3月期 上半期 決算説明会
(2022年4月1日～2022年9月30日)

2022年12月2日

2023年3月期 上半期 当社の概況 トピックス



1. 2023年3月期 上半期 概況
2. 2023年3月期 上半期 トピックス

2022年12月2日
株式会社シモジマ

（日本経済全体の状況）

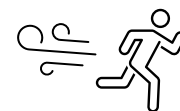
- ・行動規制の緩和によって経済活動回復傾向
- ・エネルギー価格、原材料価格の高止まり 顕著な円安進行 : 先行き不透明

（当社グループが属する業界の状況）

- ・4月にプラスチック資源循環促進法施行＝脱プラスチックの流れが加速
- ・インターネット通販市場の拡大
- ・イベント関連需要の回復

（当社の活動）

- ・長期ビジョンの実現に向けて、中期経営計画に沿った活動



① Shimojima Day 開催



当社がスポンサー契約をしている阪神タイガース
5月5日の公式主催試合を「Shimojima Day」
として開催！

持続可能な社会を目指す当社の取組みをアピー
ル！！



② A-プライス名古屋店 OPEN



5月20日 シモジマ名古屋店1階
「A-プライス名古屋店」OPEN！！

「A-プライス」：プロの食材の店

「シモジマ」：食品包材を多く扱う

このコラボで、
飲食店様の必要なものがワンストップで揃います。

2023年3月期 上半期 決算報告



1. 決算概要 (1) (2)
2. 売上高 《販売チャネル別》 前期比増減金額
3. 売上高 《商品セグメント別》 前期比増減金額
4. 財務状況
5. 設備投資 2023年3月期通期計画と上半期進捗状況
6. 配当の状況

2022年12月2日
株式会社シモジマ

1. 決算概要(1)



【連結】

単位：百万円

科 目	2022年3月期・上半期		2023年3月期・上半期		
	金 額	前 期 比	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	22,427	▲1.2%	26,017	3,590	+16.0%
売 上 総 利 益	6,995	▲2.3%	8,126	1,131	+16.2%
売 上 総 利 益 率	31.2%	▲0.4pt	31.2%	-	-
販 管 費	7,331	+0.4%	7,695	364	+5.0%
営 業 利 益	▲335	-	431	767	-
経 常 利 益	▲171	-	594	766	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲107	-	434	542	-

1. 決算概要(2)

【連結】

○売上高 26,017百万円
前期比：+3,590百万円 +16.0%

○売上総利益 8,126百万円
前期比：+1,131百万円 +16.2%

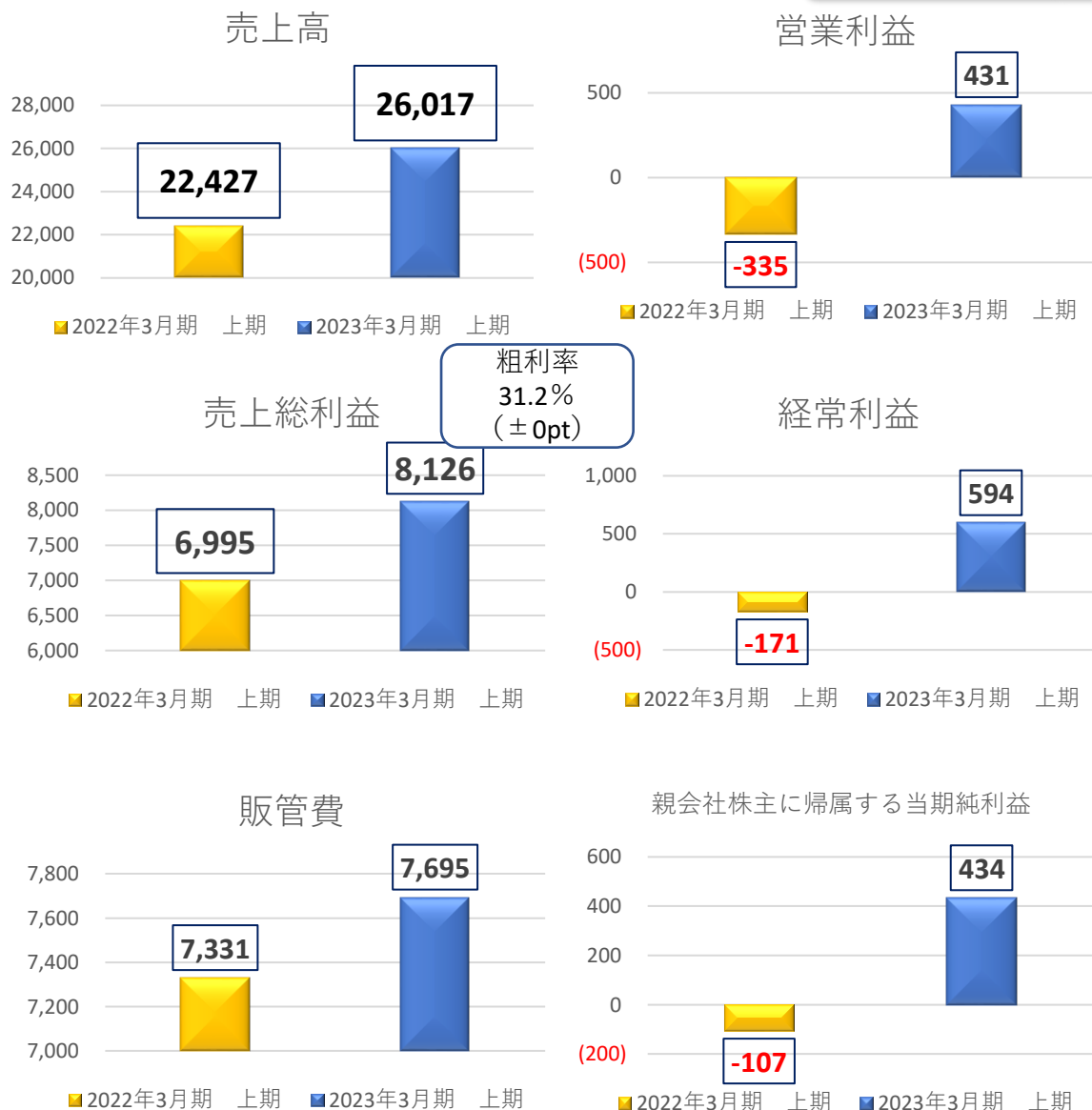
○販売管理費 7,695百万円
前期比：+364百万円 +5.0%

○営業利益 431百万円
前期比：+767百万円 (前期-335百万円)

○経常利益 594百万円
前期比：+766百万円 (前期-171百万円)

○親会社株主に帰属する
四半期純利益 434百万円
前期比：+542百万円 (前期-107百万円)

単位：百万円

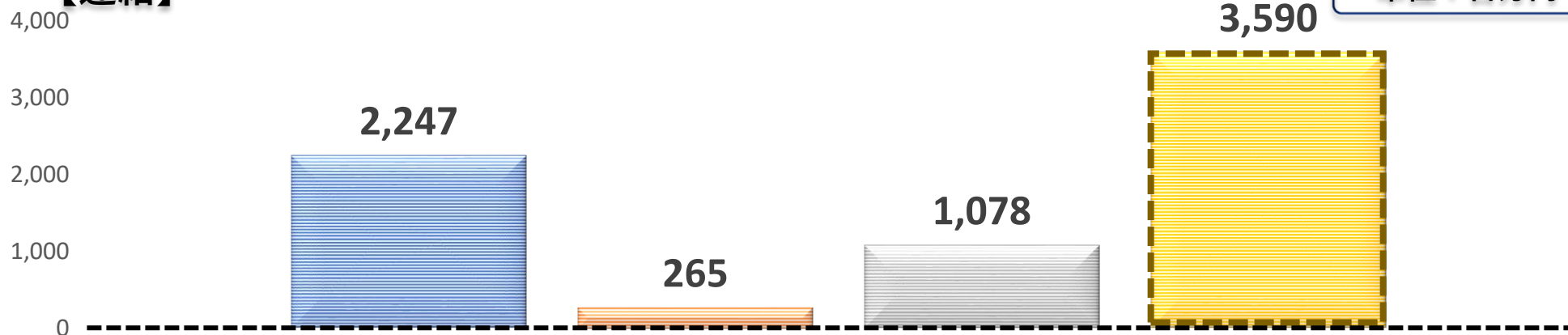


2. 売上高 《販売チャネル別》 前期比増減金額

【連結】

■ 営業販売部門 ■ 店舗販売部門 ■ 通信販売（E C）部門 ■ 合計

単位：百万円



○営業販売部門 18,442百万円
前期比：+2,247百万円 +13.9%

○店舗販売部門 5,298百万円
前期比：+265百万円 +5.3%

○通信販売（E C）部門 2,276百万円
前期比：+1,078百万円 +90.0%

合計 26,017百万円
前期比：+3,590百万円 +16.0%

< 売上増加要因 >

- ・ 既製品の主力商品の拡販
- ・ 環境配慮型商品の拡販
- ・ 特注品受注活動の活性化
- ・ イベントの復活
- ・ 店舗外商活動に注力

通販サイト（シモジマオンラインショップ）

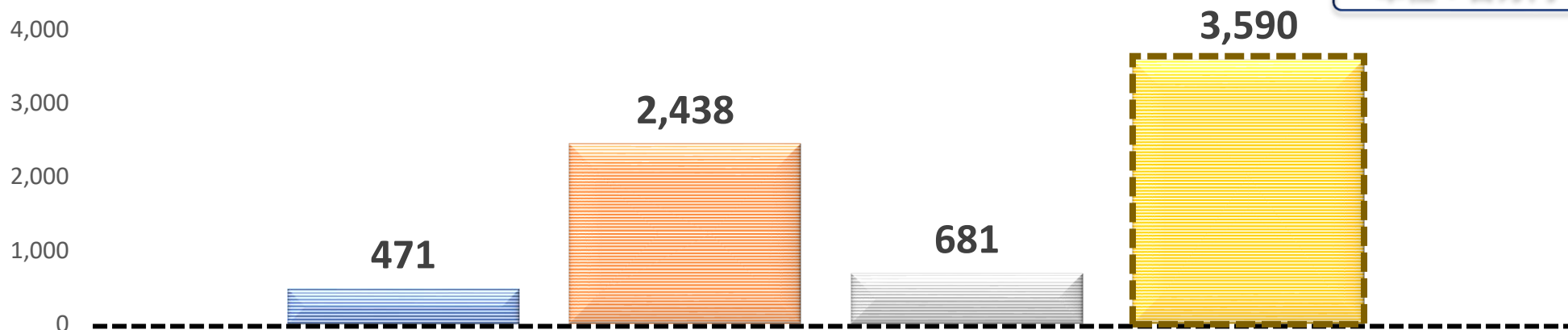
- ・ 会員数増加
- ・ 掲載商品点数増加

3. 売上高 《商品セグメント別》 前期比増減金額

【連結】

■ 紙製品事業 ■ 化成品・包装資材事業 ■ 店舗用品事業 ■ 合計

単位：百万円



○ 紙製品事業 4,572百万円

前期比：+471百万円 +11.5%

○ 化成品・包装資材事業 15,115百万円

前期比：+2,438百万円 +19.2%

○ 店舗用品事業 6,330百万円

前期比：+681百万円 +12.1%

合計 26,017百万円

前期比：+3,590百万円 +16.0%

< 売上増加要因 >

- ・ テイクアウト・フードデリバリー、通販資材好調
- ・ 店舗資材としての紙袋、紙器が好調
- ・ 小売業、飲食業の需要回復
- ・ 環境配慮型商品の伸びが堅調
- ・ 個包装向け化成品の販売好調
- ・ 新型コロナ対策商品好調
- ・ 前期グループ入りした株式会社グローバルブランドが牽引

4. 財務状況

■ 損益計算書 【連結】

単位：百万円

勘定科目	2022年3月 上半期	2023年3月期 上半期	増減額
売上高	22,427	26,017	3,590
売上原価	15,431	17,891	2,459
売上総利益	6,995	8,126	1,131
物流費	2,153	2,223	70
人件費	3,202	3,290	88
管理費	1,975	2,180	205
販管費合計	7,331	7,695	364
営業利益	▲335	431	767
営業外損益	164	163	▲0
経常利益	▲171	594	766
特別利益	7	171	164
特別損失	—	48	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲107	434	542

円安の進行及び原材料価格の高止まり

減価償却費及びのれん償却費

保険解約益

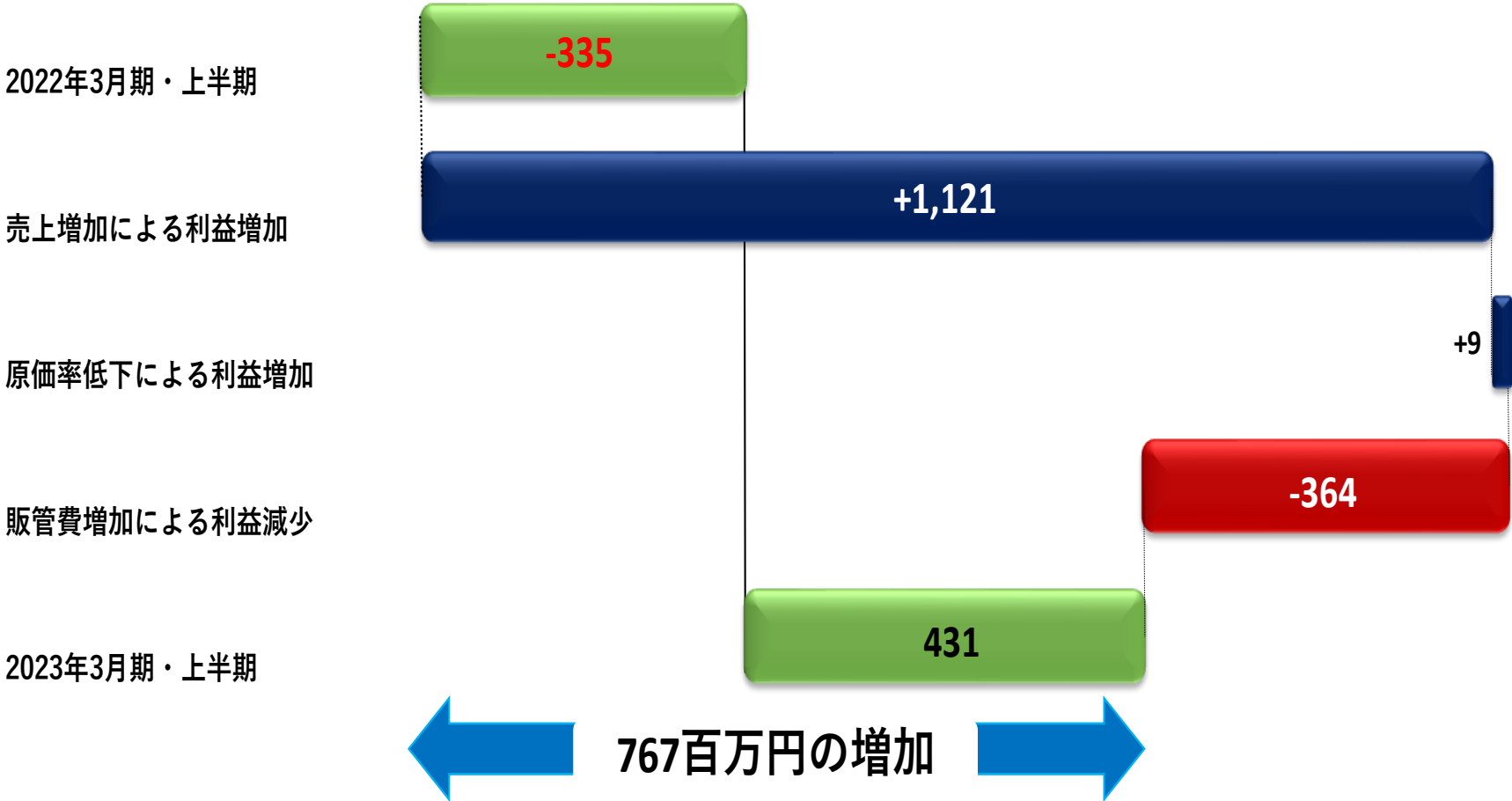
4. 財務状況

■ 営業利益の増減要因

【連結】

単位：百万円

-400 -350 -300 -250 -200 -150 -100 -50 0 50 100 150 200 250 300 350 400 450 500 550 600 650 700 750 800



4. 財務状況

■貸借対照表 (1) 抜粋

【連結】

< 資産の部 >

単位：百万円

勘定科目	2021年9月末	2022年9月末	増減額
現金及び預金	6,276	5,163	▲1,112
受取手形及び売掛金	6,177	7,467	1,289
棚卸資産	5,829	6,396	566
建物・造作設備・機械設備 等	5,000	5,270	270
土地	7,762	7,761	▲1
無形固定資産	1,238	1,740	501
保険積立金	2,116	1,553	▲562
資産合計	36,976	37,991	1,015

棚卸資産の増加及び
M&A資金

西部配送センター建替工事

のれん(M&A)

保険の解約

4. 財務状況

■貸借対照表 (2) 抜粋

【連結】

< 負債の部 >

単位：百万円

勘定科目	2021年9月末	2022年9月末	増減額
支払手形及び買掛金	2,426	2,948	521
未払金	574	624	50
退職給付に係る負債	266	344	77
長期リース債務	363	286	▲76
土地再評価に係る繰延税金負債	277	277	-
負債合計	5,217	6,188	970

< 純資産の部 >

勘定科目	2021年9月末	2022年9月末	増減額
資本金	1,405	1,405	-
利益剰余金	35,864	35,982	117
その他有価証券評価差額金	385	226	▲159
土地再評価差額金	▲6,195	▲6,195	-
純資産合計	31,759	31,803	44
負債純資産合計	36,976	37,991	1,015

期間純利益 629百万円
配当金 ▲512百万円

自己資本比率 83.6%
(前年同期比 ▲2.1pt)

4. 財務状況

■ キャッシュフロー計算書（抜粋） 【連結】

単位：百万円

勘定科目	2022年3月期 上半期	2023年3月期 上半期
税金等調整前当期純利益	▲164	717
減価償却費	394	460
減損損失	—	5
売上債権の増減額(▲は増加)	439	▲365
棚卸資産の増減額(▲は増加)	▲450	▲882
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲272	32
法人税等の支払額	▲38	▲95
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲457	▲692
固定資産の取得による支出	▲629	▲884
保険積立金の解約による収入	100	963
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲574	122
配当金の支払い額	▲255	▲255
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲321	▲302
現金及び現金同等物の期首残高	7,441	5,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,087	4,975

売上増加に伴う売上債権増加

売上増加に伴う棚卸資産増加

物流投資・IT投資

5. 設備投資 2023年3月期通期計画と上半期進捗状況

単位：百万円

投資項目	2023年3月期 通期計画	2023年3月期 上半期実績	進捗率
物流投資	1,428	687	48.1%
I T 投資	478	122	25.5%
店舗投資その他	457	39	8.5%
合 計	2,363	848	35.9%

2023年3月期通期 主な設備投資計画

< 物流投資 >

- ・西部配送センター建替工事
- ・センター補修、オーバーホール
- ・センター空調設備増強

< I T 投資 >

- ・D X 関連
- ・基幹システム改修
- ・在庫管理システム増強

< 店舗投資その他 >

- ・直営店P O Sレジ入替
- ・エレベーターリニューアル
- ・照明のL E D化

	1 株 あ た り 配 当 金		
	中 間	期 末	年 間
2022年3月期 (実績)	11円	11円	22円
2023年3月期 (実績)	11円	—	22円
2023年3月期 (予想)	—	11円	

2023年3月期 通期業績予想 今後の見通し



1. 2023年3月期 通期業績予想（上方修正）
2. 2023年3月期 今後の見通し（業界動向）

2022年12月2日
株式会社シモジマ

【連結】

単位：百万円

科 目	2022年3月期 結 果	2023年3月期 予想		
	金 額	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	48,063	52,800	4,736	+9.9%
営 業 利 益	44	1,000	955	—
経 常 利 益	380	1,400	1,019	+267.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	87	900	812	+930.3%

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、当該予想数値と異なる場合があります。

シモジマグループは包装資材を扱う専門商社

1. プラス要因

- ・イベント関連需要の回復
- ・テイクアウト・フードデリバリー需要好調で食品包材の売上増加
- ・インバウンド需要の回復（中国のゼロコロナ政策緩和に期待）

2. マイナス要因

- ・原材料価格、エネルギー価格は当面高止まり
- ・人件費高騰

3. 不安定要因

- ・為替動向

4. 潮流

- ・脱プラスチック ⇒ 環境配慮型商品へのシフト

（レジ袋有用化：2020年7月～ プラスチック資源循環促進法：2022年4月～）

- ・インターネット市場は当面拡大

（注）今後の見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際は、この見通しと異なる場合があります。



シモジマグループの成長と発展に向けて(1)

基本情報



1. シモジマグループ 経営理念・社是・社章
2. シモジマグループ 長期ビジョンと長期方針

経営理念

- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

社是

三意精神 『誠意・熱意・創意』

社章

すべてを包み込みながら拡大し続ける宇宙をモチーフとしており、社員や地域社会を含めた一体感や企業の発展性を象徴しています。



シモジマ
グループ
長期ビジョン

10年後のあるべき姿



長期方針

“パッケージ×サービス”で お客様に元気を届ける トータルパートナーを目指す

既存事業の深化と事業領域の拡大で多様な商品及びサービスを提供し、お客様を元気にしたい。
シモジマは“パッケージ×サービス”のトータルパートナーを目指します。

【1】事業の拡大

1. 既存事業の深化
2. 事業領域の拡大

【2】経営基盤の強化

1. グループ連携の強化
2. IT基盤の強化とデジタル化の推進
3. 物流体制の強化
4. 人財力のアップ

【3】経営体制の強化

1. コーポレートガバナンス体制の強化
2. CSRの推進
3. ESGの取り組み強化
4. SDGsの取り組み強化
5. 環境経営の推進

シモジマグループの成長と発展に向けて(2)

中期経営計画に対する活動状況



1. 売上高と営業利益率の目標 (中期経営計画・2026年3月期)
2. シモジマ型オムニチャネル「100万×100万プロジェクト」進捗状況
3. 循環型リサイクルモデル「クローズド・リサイクル」の確立
4. 人材育成 デジタル人材育成プログラム

1. 売上高と営業利益率の目標 (中期経営計画目標・2026年3月期)

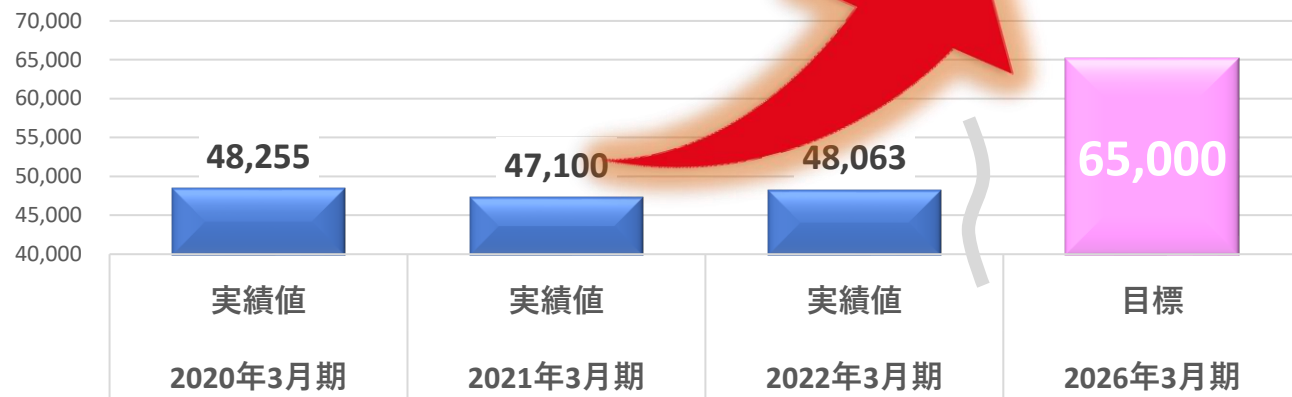
売上高の目標

(単位：百万円)

		売上高
2020年3月期	実績値	48,255
2021年3月期	実績値	47,100
2022年3月期	実績値	48,063
2026年3月期	目標	65,000

単位：百万円

売上高目標



営業利益の目標

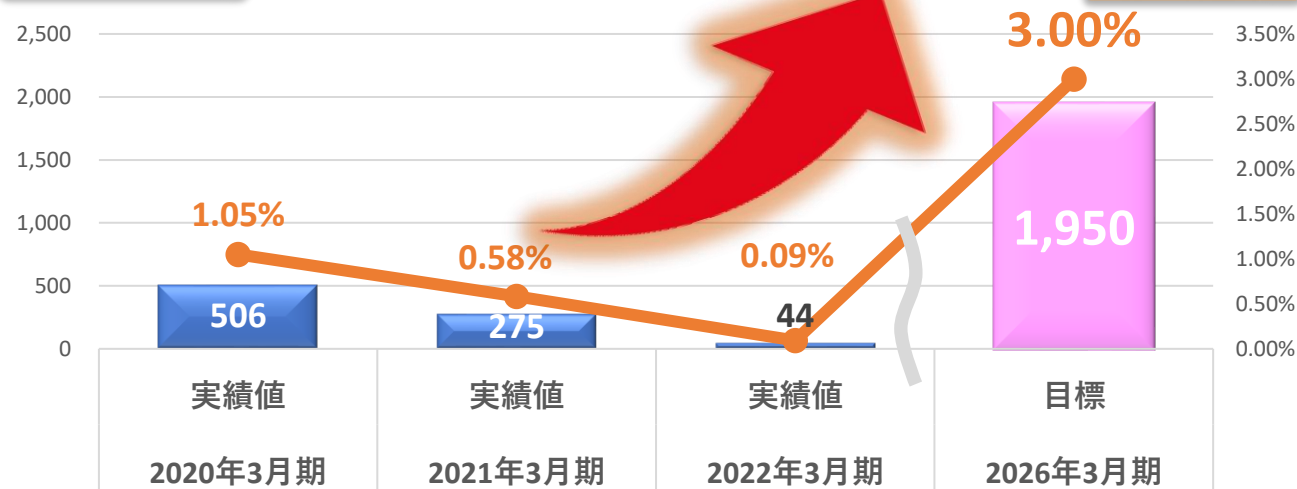
(単位：百万円)

		営業利益	営業利益率
2020年3月期	実績値	506	1.05%
2021年3月期	実績値	275	0.58%
2022年3月期	実績値	44	0.09%
2026年3月期	目標	1,950	3.00%

単位：百万円

営業利益目標

営業利益率





ONLINE

商売繁盛をがっちり支援！



SHIMOJIMA MALL
シモジマモール

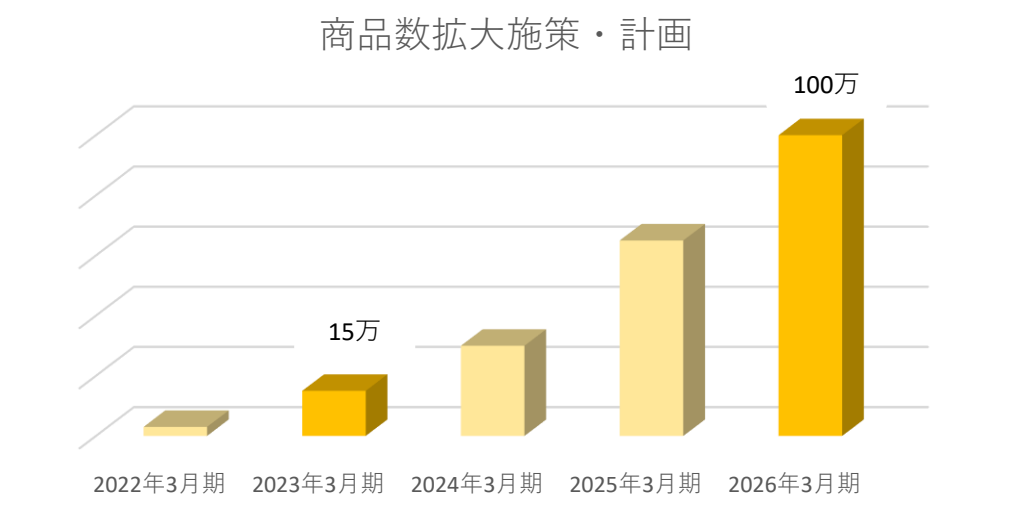


商品数拡大施策

シモジマオンラインショップ

目標掲載商品点数（SKU）・進捗率

11月15日現在	目標商品点数	進捗率
12万SKU	2026年3月期 100万SKU	12%
	2023年3月期 15万SKU	80%



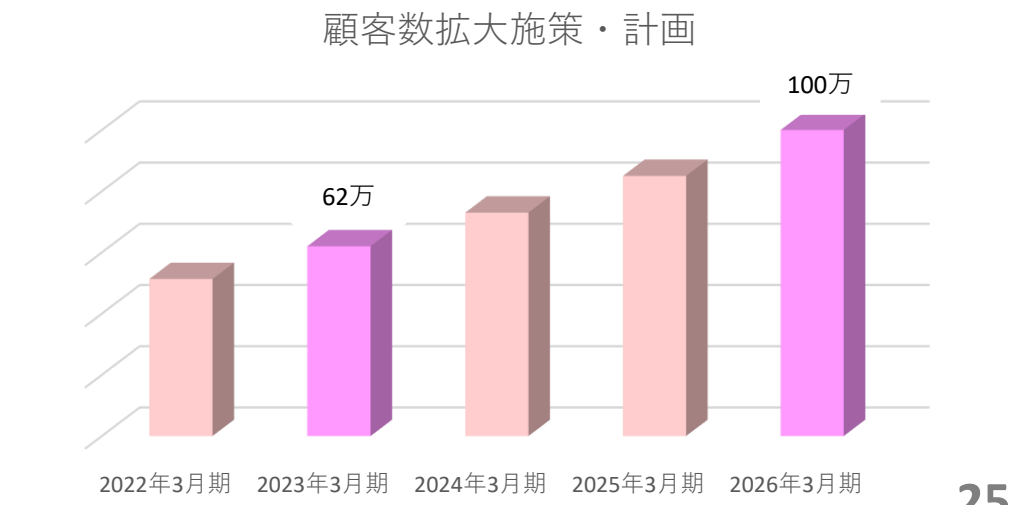


顧客数拡大施策

シモジマオンラインショップ

目標会員数・進捗率

11月15日現在	目標会員数	進捗率
58万人	2026年3月期 100万人	58%
	2023年3月期 62万人	93%



3. 循環型リサイクルモデル「クローズド・リサイクル」の確立

無地・柄付き販売用紙袋 各3サイズ作成

- ・ 巾210mm × マチ120mm × 高さ250mm
- ・ 巾240mm × マチ170mm × 高さ240mm
- ・ 巾320mm × マチ115mm × 高さ310mm

宅配袋
(非売品)



販売用紙袋

印刷・製造加工メーカー
ハイコーパック



シモジマ
本社・都内店舗・物流倉庫

使用済み段ボールを
再利用！！



使用済み段ボール

シモジマ・丸紅グループ 「クローズド・リサイクルモデル」

丸紅グループ
丸紅ペーパーリサイクル

古紙100%の
段ボール原紙製造



丸紅グループ
興亜工業／丸紅フォレストリンクス



紙の原料として
回収・輸送

4. 人材育成 デジタル人材育成プログラム

< 6 か月間の研修内容 >

- ①基礎知識研修
- ②実務対応研修

◇特化メニュー

教育

- ・基幹システム、サブシステムの知識

実務

- ・サブシステムのメニュー作成
- ・E D I 設計
- ・基幹システム運用・保守対応

◇基礎メニュー

教育（受講）

- ・基幹システム
- ・I T 基礎知識
- ・ネットワーク
- ・セキュリティ
- ・P C 設定
- ・問い合わせ対応

などの各講習を実施



全社的な

- ・ I T 知識の向上
- ・ 生産性の向上



デジタル人材による社内のD X推進



株式会社シモジマ 会社紹介



1. 会社概要
2. 沿革
3. 受け継がれる シモジマの精神

1. 会社概要

会社名	株式会社シモジマ	SHIMOJIMA Co., Ltd.
創業	大正9年	
設立	昭和37年4月26日	
資本金	1,405百万円	
本社	東京都台東区浅草橋五丁目29番8号	
代表者	代表取締役社長 笠井義彦 代表取締役専務 下島雅幸	
従業員数	連結 809名 (2022年3月現在) 単独 627名 (2022年3月現在)	
事業内容	卸売販売 ◇紙製品事業 紙袋・包装紙・紙器 ◇化成品・包装資材事業 ポリ袋・粘着テープ・食品包材・紐リボン・その他包装資材 ◇店舗用品事業 POP用品・文具事務用品・店舗雑貨・アパレル関連資材 ・園芸関連資材	
売上高	480億63百万円	(2022年3月期/連結)
営業利益	44百万円	(2022年3月期/連結)



シモジマ本社ビル



シモジマ浅草橋本店

2. 沿革

年月	沿革
1920年1月	包装材料卸問屋下島商店創業
1943年8月	(株)下島商店発足
1943年9月	下島荷具工業(株)に商号変更
1964年7月	(株)シモジマを設立
1967年7月	(有) 彩光社に資本参加
1972年3月	浦和市（現さいたま市）に東部配送センター設置
1977年12月	東大阪市に西部配送センター設置
1989年9月	栃木県安蘇郡田沼町（現佐野市）に田沼倉庫設置。物流子会社ヘイコーハンドリング(株)（現シモジマ加工紙(株)）を設立
1995年12月	日本証券業協会に株式を店頭登録 資本金14億507万円
1996年9月	当社最大店舗の浅草橋5号館（現浅草橋本店）を新築オープン
2000年11月	本社においてISO14001認証取得
2001年2月	東京証券取引所市場第二部上場

年月	沿革
2001年9月	名古屋市中区に同地区最大規模の名古屋店をオープン
2001年12月	子会社、(株)エスティシーを設立
2003年10月	東京浅草橋に浅草橋6号館（現east side tokyo）をオープン
2004年9月	東京証券取引所市場第一部に指定替え
2006年3月	子会社、下島（上海）商貿有限公司を設立
2010年4月	(株)リード商事を子会社化
2014年4月	執行役員制度導入
2014年8月	大阪南港物流センター開設
2017年8月	子会社、(株)エスパックを設立
2017年9月	(株)我満商店をグループ化
2019年10月	ミタチパッケージ(株)を子会社化
2019年12月	朝日樹脂工業(株)を子会社化
2021年11月	(株)グローバルブランドを子会社化

3. 受け継がれる シモジマの精神

初期の平光マーク



現在のHEIKOマーク



創業当時の
店舗兼住居



創業1920年
(黎明期)



下島商店時代のカタログ

※既に製造販売を中止している商品も御座います。

「平光マーク」に込められた思い
「良心的でないものは作らない・売らない」というのが創業時からの当社の信念。当社が扱う商品であることを示すマーク。
「平」＝なだらかに行き渡らせる
「光」＝仏の御心の輝き
正しく、誠の精神に則った商品を世界中に行き渡らせたい。そうした願いが込められている。

大正・昭和時
(発展～拡大期)



昭和の時代の
手提げ紙袋



平紐



クリスタルパック



木製カトラリー
とクラフトBOX

平成時代
(変革期)



再生紙手提げ袋

現在



脱プラ宣言！カタログ



宅配用資材

ご清聴ありがとうございました。



お忙しいところ、弊社決算説明会に
お集まり頂き、誠にありがとうございました。

2022年12月2日
株式会社シモジマ